

図3. 5-3 場所別24時間の分布 (診察室)

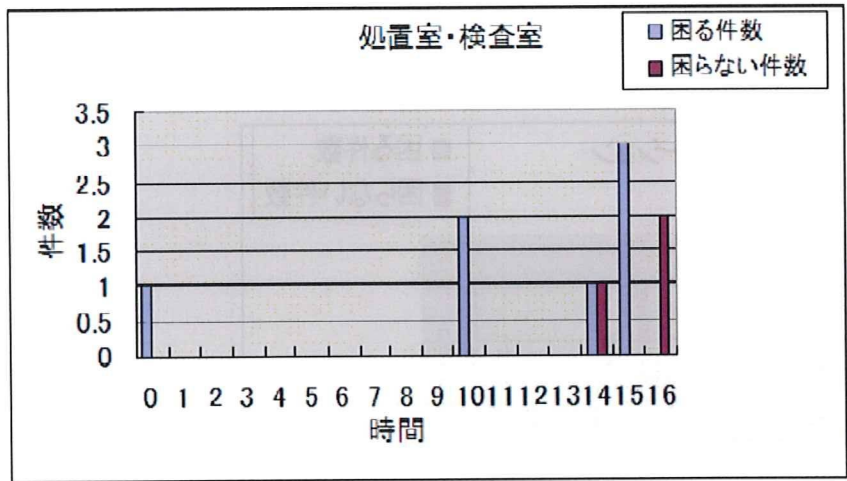


図3. 5-4 場所別24時間の分布 (処置室・検査室)

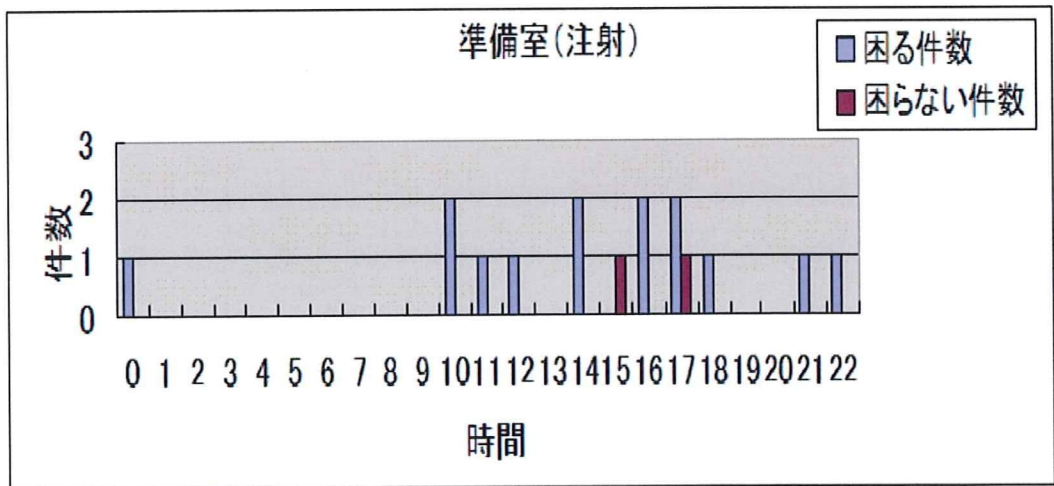


図3. 5-5 場所別24時間の分布（準備室（注射））

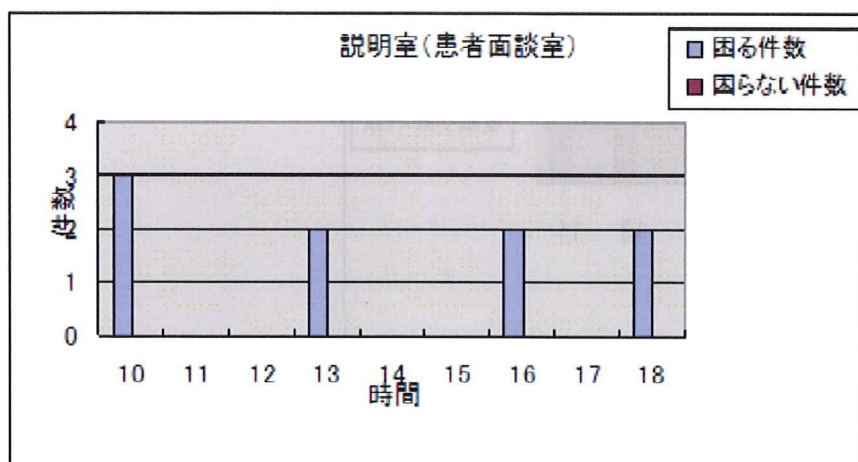


図3. 5-6 場所別24時間の分布（説明室（患者面談室））

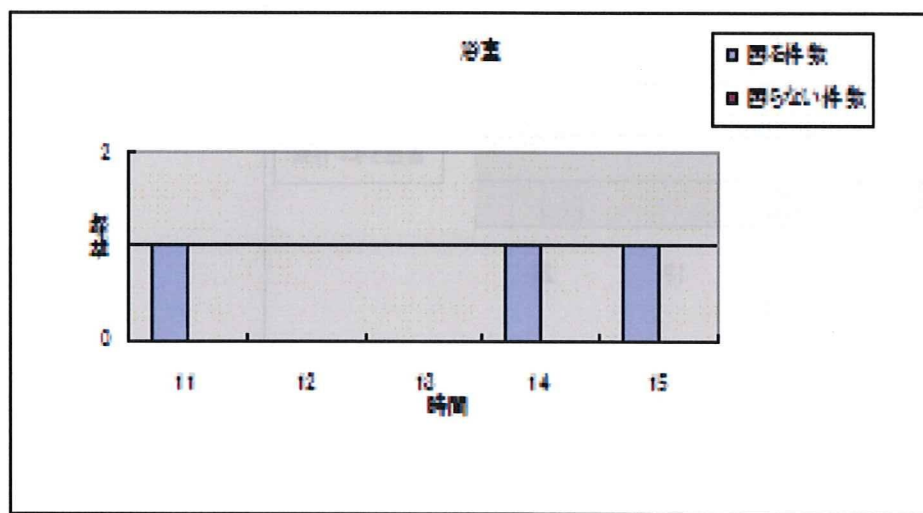


図3. 5-7 場所別24時間の分布（浴室）

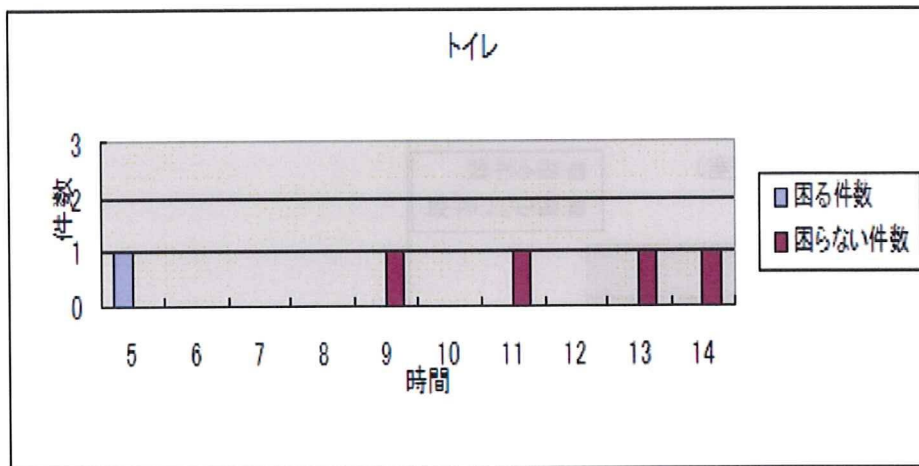


図3. 5-8 場所別24時間の分布 (トイレ)

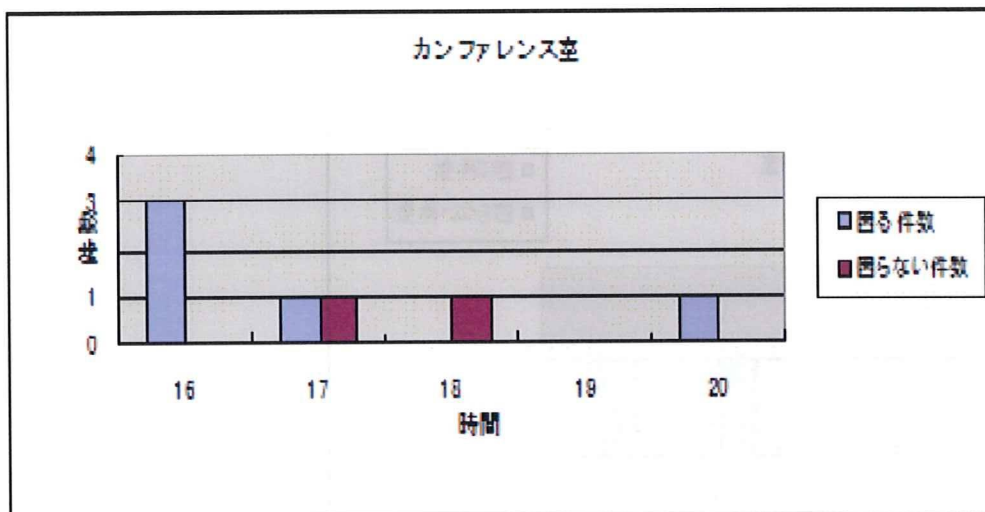


図3. 5-9 場所別24時間の分布 (カンファレンス室)

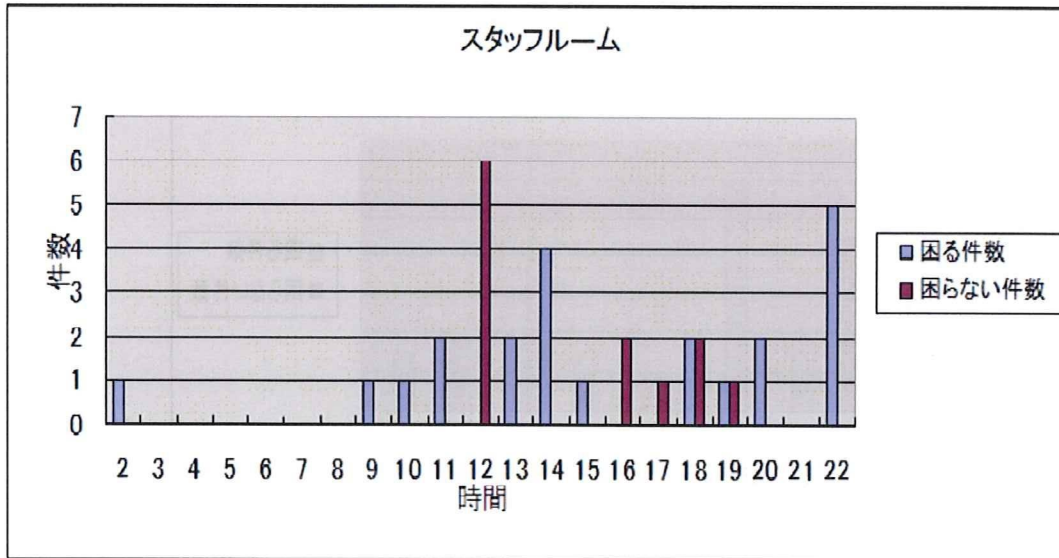


図3. 5-10 場所別24時間の分布 (スタッフルーム)

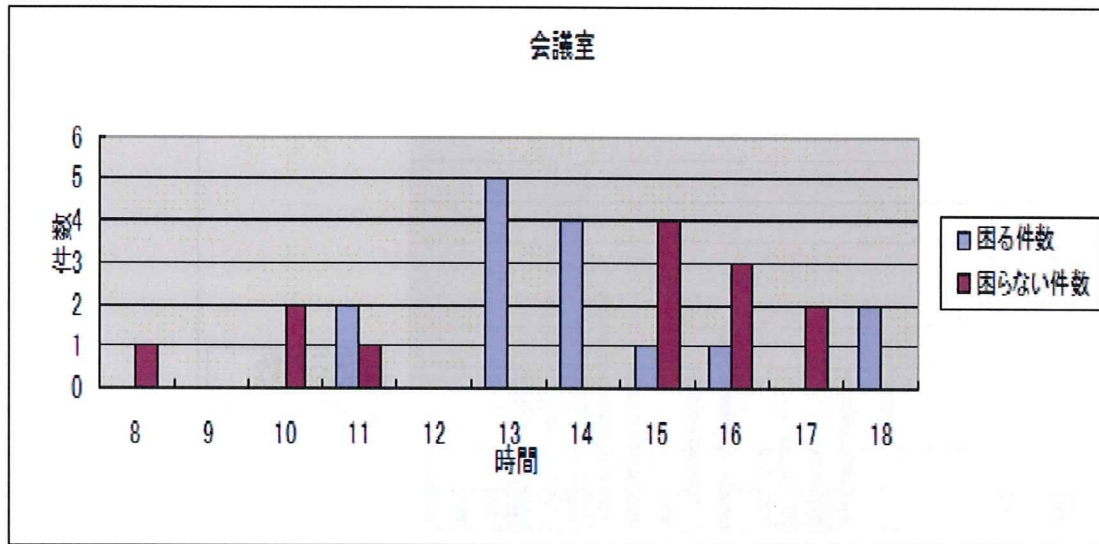


図3. 5-11 場所別24時間の分布 (会議室)

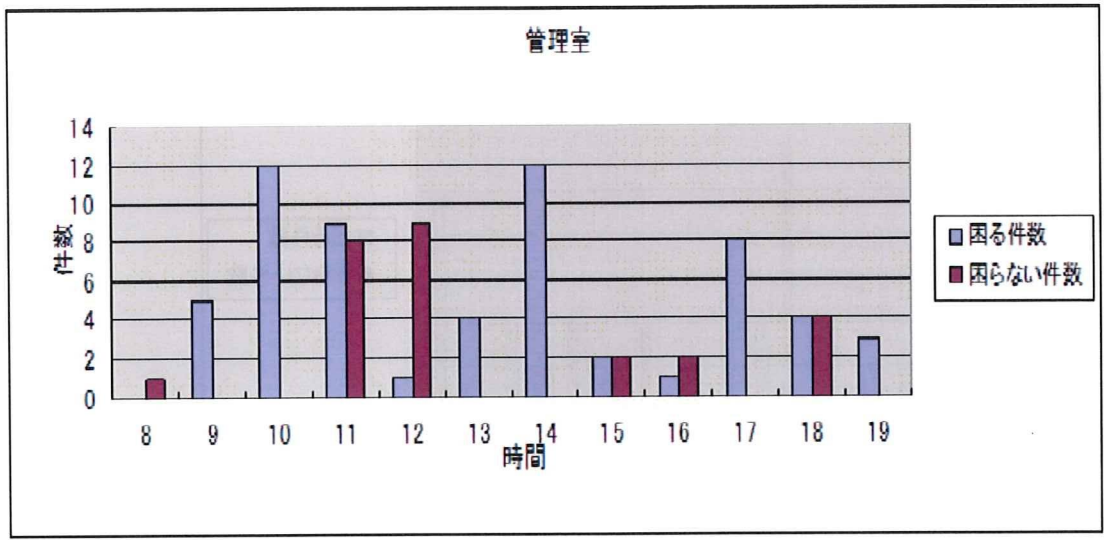


図3. 5-12 場所別24時間の分布 (管理室)

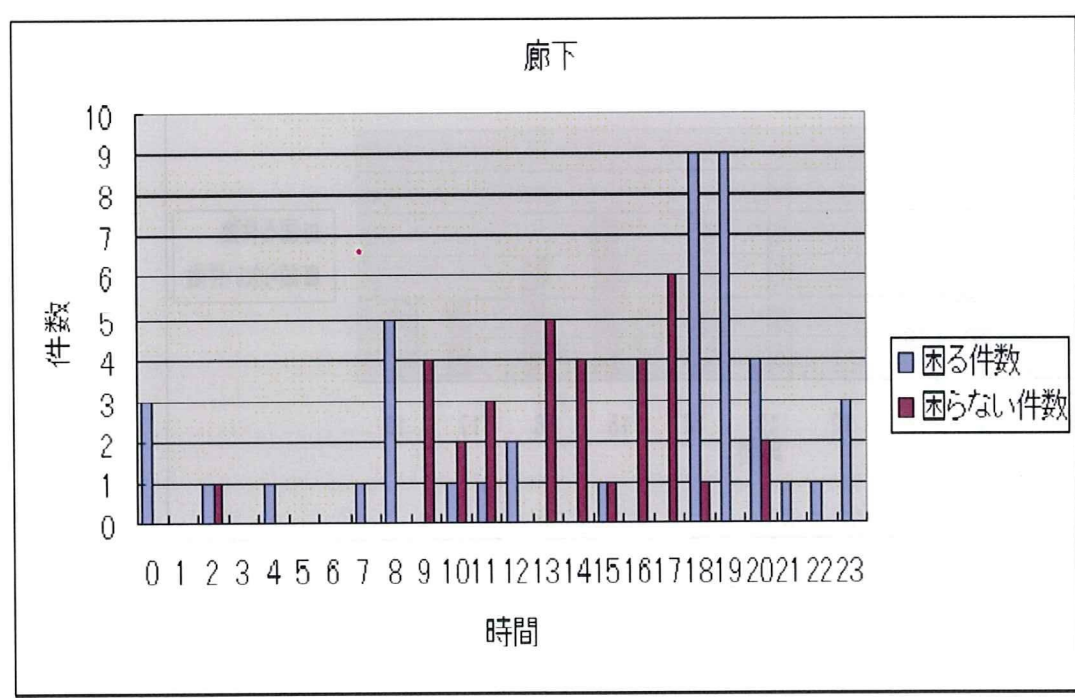


図3. 5-14 場所別24時間の分布 (廊下)

E. 結論

現在医療機関では構内 PHS を導入している施設が増えているが、連絡がつきやすく便利な反面、着信による業務の中断の実態も明らかとなった。今後医療機関内での職員間のコミュニケーションの改善を継続的に検討していく必要がある。

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

なし。2010年10月、第48回日本医療・病院管理学会にて発表予定。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

別添5

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
	なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
山野辺裕二、 本多正幸、 相澤志優	ユニファイド・コミュニ ケーションの病院へ の応用	医療情報学	29巻 Supplment	1038-1039	2009

